

## 中村奨太選手が表敬訪問

3月16日、約半年間のシーズンを終えたスピードスケートの中村奨太選手が瀧町長を表敬訪問。今季は、海外での試合が多く、ワールドカップ1戦から5戦、世界距離別選手権と世界選手権に出場。

日本スケート連盟が招へいたオランダ人コーチの指導により、「日本の長距離選手が世界のレベルに近づいている。次の五輪に向けて出場可能な種目の範囲も広がった」と話していました。



## 地域防災の輪 広がる

日頃からの防災活動や災害発生時に大きな役割を果たしている自主防災組織。

3月24日、旭陽農事組合が町内で13番目の自主防災組織に認定され、瀧町長から安井貴志会長に認定書が交付されました。

町では、地域防災力の強化を図るため、自主防災組織設立に向けた取り組みを支援しています。結成に関心がありましたら、総務課までお問い合わせください。



## 地域で見守る活動を

3月17日、町内の認知症サポーターに登録されている方を対象としたフォローアップ研修会が開催されました。

町では、認知症患者やその家族を地域で支え、見守る活動として、認知症サポーター養成講座を開催するなどしています。

研修は、邨山達也弁護士を招いた「成年後見制度について」の講演で、認知症患者を見守るための制度が紹介されました。



## 節目の記念大会開催！

3月25日から27日にかけて、第10回A B I R A ミクニカップキッズアイスホッケー大会が、リニューアルしたスポーツセンターアイスアリーナで開催され、全道から12チームが集い、優勝を目指しました。

大会1日目、12チームが4つのブロックに分かれ予選リーグを開催。決勝トーナメント進出をかけ、白熱した試合を繰り上げ、2日目には、歓迎イベントが行われ、選手にとって緊張が和らぐ時間となりました。

イベントでは、三國清三シエフ監修のミクニカレーに舌鼓。シエフと橋本聖子参議院議員によるトークセッションや予選 MVP 賞の表彰のほか、決勝トーナメントの組合せ抽選が行われ、会場は大盛り上がり。

レセプション後の記念アトラクションでは、王子イーグルスの選手やスマイルジャパンに選出された選手らとの交流試合を実施。アイスホッケー少年少女にとってかけが

えのない時間になったことでしょう。

大会最終日は、準決勝からスタート。勝ち抜いたのは、2年連続優勝を狙う清水御影アイスホッケー少年団と初優勝を狙う開西・浦幌合同の帯広地区同士の対決となり、一進一退の攻防で、2対2の同点のまま第3ピリオドで勝敗がつかず、ゴールを決めると勝ちとなるゲームウイニングショットの末、開西・浦幌合同チームが初優勝し、第10回大会の幕を閉じました。

